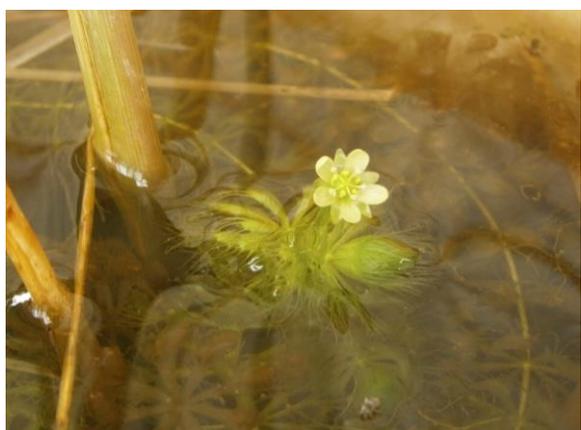


三田ヶ谷公民館で ムジナモの花が咲きました！



三田ヶ谷公民館の正面玄関にあるムジナモが
花を咲かせました！

令和6年（2024）は、速水義憲（はやみず
よしのり）氏が、羽生で初めてムジナモを発見して
103年目にあたります。

日本国内では、牧野富太郎（まきのとみたろう）
氏が発見してから134年目となります。

ムジナモの花は滅多に咲かないため、「幻の花」
と言われます。

牧野富太郎は、日本で偶然咲いたムジナモの花を絵に描き、詳細な解剖図とともに
学術誌に発表したことにより、その名が世界に轟くことになりました。

去年は、牧野をモデルにしたテレビ小説「らんまん」が放送され、ムジナモの発見や開花
が描かれていました。

ドラマに登場したムジナモは三田ヶ谷から送られたものです。

ムジナモは、真夏に1～2時間ほどしか咲かないと言われています。しかも、マツチ
棒の先端ほどの大きさなので、あまり目立ちません。

環境の変化によるものか、今年は5月末につぼみをつけ、3～4時間花を咲かせてい
るムジナモも確認されています。

ムジナモの花にはまだまだ多くの謎が隠されています。

牧野富太郎の名を世界へ押し上げたムジナモの花。

今年も三田ヶ谷で開花し、羽生市の名がますます大きく羽ばたいていくでしょう。



※現在、三田ヶ谷公民館にはカブトムシもいます！

ムジナモと合わせて、夏休みの“自由研究”の題材にお使いください!!

☆裏面もご覧ください☆

はつらつ教室のお知らせ

日 時：8月23日（金）10時～11時

持ち物：タオル、飲み物

場 所：三田ヶ谷公民館“和室”



健康運動教室のお知らせ

日 時：8月7日（水）

10時～11時30分

持ち物：タオル、飲み物

場 所：三田ヶ谷公民館“和室”



8月の休館日

毎週火曜日、

8月11日(日)～8月15日(木)

「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第4回 虫送り)

田んぼの稲がスクスクと育つ7月から8月にかけて、かつて多くの地域で「虫送り」(虫追い)という行事が行われていました。

これは**松明(たいまつ)**を持って地域内をめぐり、煙で害虫を追い払うというものです。害虫駆除が容易にできなかった昔において、全国的に見られた行事でした。羽生市内でも、**喜右衛門新田**や**常木**、**与兵衛新田**などで行われ、年中行事の一つに数えられます。

例えば、喜右衛門新田では毎年7月23日に実施され、**鉦(かね)**と**太鼓(たいこ)**を鳴らしながら、藁で作った大きな松明で地域内を巡回したと伝わります。

まわり終わると、村境で焚き上げて虫を送り出しました。夜の7時頃に始まり、9時頃に終わる地域が多かったようです。鉦と太鼓の音とともに、暗闇をめぐる松明の明かりは幻想的だったのではないのでしょうか。

喜右衛門新田では昭和10年頃、**与兵衛新田**では大正12年頃まで虫送りの行事が続けられました。後者では、**子どもたち**が虫送りを行うようになりましたが、昭和25年頃にその役目を終えたと言われています。

埼玉県内には、「**ホーイホーイ**」というかけ声とともに虫を送った地域もあります。羽生市内でかけ声があったのかは不明です。時代とともに技術が進歩し、農薬等で害虫から稲が守られるようになった一方で、かつての伝統行事は忘れられつつあります。



喜右衛門新田に広がる田んぼと八幡神社遠景

※羽生市内の虫送りの写真をお持ちでしたら、公民館まで情報をお寄せください。